NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

# 第22期 報告書

平成27年1月1日 ▶ 平成27年12月31日



## 日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

# 株主の皆様へ

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第22期（平成27年１月１日から平成27年12月31日まで）における取組み及び成果についてご報告申し上げます。

当社は、アジア、欧州、米国に広がるグループ独自のネットワークを活用したワンウェイ輸送サービスと貨物の加温・保管等、様々な液体物流に伴って必要となる附帯サービスを、自社の国内物流拠点を活用してワンストップで提供することを強みに、積極的に業容の拡大に取り組んで参りました。この結果、当連結会計年度も予想を上回る成果をご報告できることを大変喜ばしく思います。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒一層のご支援とご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成28年3月

代表取締役社長
**松元　孝義**

## 事業の概況

当連結会計年度における我が国経済は、円安の定着に伴う輸出採算の改善等による企業収益の向上や、雇用情勢の改善を背景として、全般的に景気の緩やかな回復基調が続いたものの、年央以降は、海外景気の減速懸念等の影響により、やや力強さに欠けるものとなりました。

一方、世界経済に目を向けますと、米国では、個人消費等の堅調な内需に支えられ、底堅い成長が続きました。欧州では、ロシア情勢やギリシャ債務問題の抜本的解決に決め手を欠くものの、ドイツでの景気持ち直しを牽引役に、緩やかながら景気回復の傾向がみられました。新興国においては、中国・天津市で化学品倉庫の大規模爆発事故が発生したこともあり、中国経済の減速基調がより鮮明となったことで、周辺諸国の景気にもその影響がみられました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、輸出取引は円安を背景とした日系企業の価格競争力向上に伴って、上半期は順調に推移したものの、年後半にかけては、一転停滞に転じました。また輸入取引は、輸入価格の上昇の影響が顕在化する中で、総じて取扱高が伸び悩みました。三国間取引は、欧州とアジア域内が低調だったものの、北米を起点とする取扱高が堅調に推移したことから、全体としては前年並みを確保しました。一方国内取引は、中部支店新設、神戸支店増強によるサービス提供力の向上の効果が浸透したことにより着実に拡大しました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は11,001百万円（前期比6.8%増）となりました。また、利益面では、営業利益は2,111百万円（前期比12.5%増）、経常利

## 日本コンセプト株式会社　経営理念

1．わたしたちは、効率的な国際液体物流システムを構築・運営することにより、
　世界中のお客様に貢献します。

2．わたしたちは、きめ細かい高品質のサービスをお客様に提供します。

3．わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有し、
　国際液体物流のプロフェッショナル集団となることを目指します。

4．わたしたちは、公共性・信頼性・国際性を備え、社会に誇り得る会社となることを目指します。

益は1,983百万円（前期比9.0%増）となり、法人税等差引後の当期純利益は1,300百万円（前期比12.1%増）を計上しました。

次期の見通しにつきましては、日本経済は、海外経済の減速懸念はあるものの、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の増加、好調な企業収益を背景として、景気は引き続き緩やかな回復基調を維持するものとみられます。

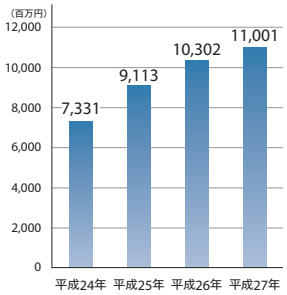
一方、世界経済をみますと、米国は、失業率の低下や賃金の上昇などを背景として、内需主導での回復基調が継続するとみられます。欧州は、ギリシャ債務問題や中東からの難民流入の問題が燻り続ける中、牽引役となるドイツの景気回復にも懸念が出ており、厳しい状況が続くものとみられます。また、中国では景気減速が続くものとみられており、新興国でもこの影響を受けて、全体として景気減速への懸念が払拭されない状況にあります。

このような情勢の中、当社グループは、円安の定着により価格競争力を回復しつつある日系企業の輸出取扱高の増大に注力するとともに、アジア、欧州、米国に広がる当社グループのネットワークを活用し、シェール革命に伴って化学品の大幅な増産が見込まれる北米地域を起点として、輸入・三国間取引の拡大を推進することにより、海外取扱高を着実に拡大して参ります。一方国内においては、中部支店（平成25年２月新設）、神戸支店（平成25年９月拡張）、水島支店（平成27年８月新設）等、近年の整備拡充によりサービス提供力が飛躍的に向上した自社物流拠点網の機能をフル活用し、安定的に取扱高を拡大して参ります。

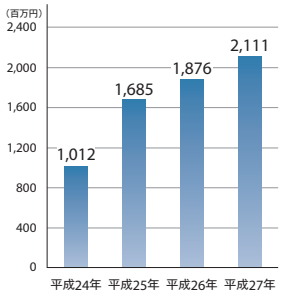
これらの結果、当社グループの次期連結会計年度における業績見通しは、前提となる為替相場を１ドル115円00銭とした上で、売上高11,830百万円、営業利益2,230百万円、経常利益2,080百万円、当期純利益1,410百万円を予想しております。

## 財務ハイライト（連結）

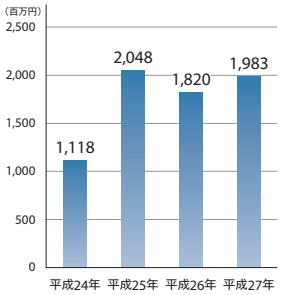
### ■売上高



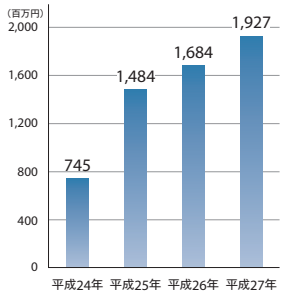

### ■営業利益



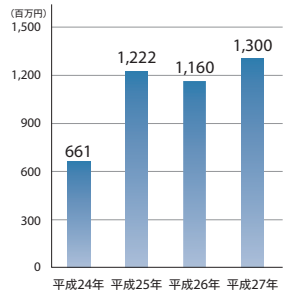

### ■経常利益



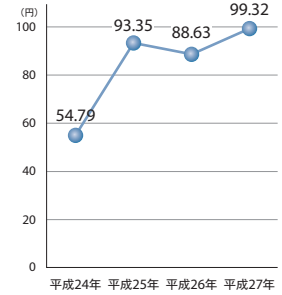

### ■経常利益（「通貨オプション損益・為替差損益」除く）



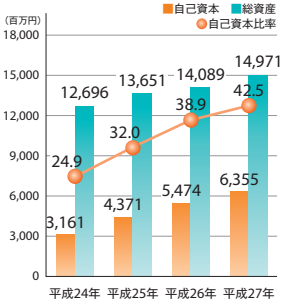

### ■当期純利益



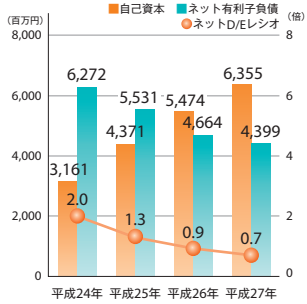

### ■1株当たり当期純利益




### ■自己資本比率




### ■ネットD／Eレシオ※




※ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

TOPICS 01

## 株主優待制度を新設しました。

平成27年11月に発表しましたとおり、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期にわたり株式を保有して頂ける株主様の増加を図るとともに当社事業へのご理解を深めて頂くことを目的とし、株主優待制度を新設することにいたしました。

平成27年12月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上の株式を保有されている株主様を対象に当社のタンクコンテナをデザインした1,000円のQUOカードを本報告書に同封させて頂いておりますのでご確認ください。




TOPICS 02

## 神戸営業所を開設しました。

平成28年２月１日付で、関西地域における営業拠点として、神戸営業所を神戸支店に併設する形で新設し、大阪営業所の機能を統合いたしました。

当社は、液体貨物の片道運賃での輸送サービス(ワンウェイ輸送）を提供するため、国内においては、京浜（川崎）・神戸・中部（四日市）・水島・徳山・新潟の６ヶ所で物流拠点を展開しております。うち中部（四日市）・水島・徳山の各支店には営業所を併設し、営業所と支店が密接に連携することで、顧客の幅広いニーズに、適確かつタイムリーに応える体制を構築しております。

今般関西地域におきましても、営業所を神戸支店内に新設することにより、他地域同様の連携体制を構築することで顧客へのサービス提供力の向上を図るものであります。

### 神戸営業所の概要

名　　称：日本コンセプト株式会社
　　神戸営業所
所 在 地：〒650-0045
　　兵庫県神戸市中央区港島8-11-6
電話番号：078-380-0203
FAX番号：078-303-0621





＜神戸支店風景＞

# 連結業績推移

| 区　分 | | 第19期（平成24年12月期） | 第20期（平成25年12月期） | 第21期（平成26年12月期） | 第22期（平成27年12月期） |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | （百万円） | 7,331 | 9,113 | 10,302 | **11,001** |
| 売上総利益 | （百万円） | 2,035 | 2,818 | 3,095 | **3,397** |
| 営業利益 | （百万円） | 1,012 | 1,685 | 1,876 | **2,111** |
| 経常利益 | （百万円） | 1,118 | 2,048 | 1,820 | **1,983** |
| 当期純利益 | （百万円） | 661 | 1,222 | 1,160 | **1,300** |
| 純資産 | （百万円） | 3,161 | 4,371 | 5,474 | **6,355** |
| 総資産 | （百万円） | 12,696 | 13,651 | 14,089 | **14,971** |
| １株当たり純資産額 | （円） | 241.39 | 333.72 | 418.02 | **485.25** |
| １株当たり当期純利益金額 | （円） | 54.79 | 93.35 | 88.63 | **99.32** |
| 自己資本比率 | （%） | 24.9 | 32.0 | 38.9 | **42.5** |
| 自己資本当期純利益率 | （%） | 25.3 | 32.5 | 23.6 | **22.0** |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | （百万円） | 493 | 1,425 | 1,764 | **2,061** |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | （百万円） | △ 952 | △ 245 | 3 | **△ 697** |
| フリーキャッシュ・フロー | （百万円） | △ 459 | 1,179 | 1,768 | **1,363** |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | （百万円） | 401 | △ 717 | △ 1,410 | **△ 1,186** |

（注）当社は、平成24年6月19日付で普通株式1株につき1,000株、また平成27年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いましたが、第19期（平成24年12月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

| 科　目 | 第21期（平成26年12月31日） | 第22期（平成27年12月31日） | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 【資産の部】 | | | |
| 流動資産（※1） | 3,783 | 4,147 | 364 |
| 現金及び預金 | 2,391 | 2,531 | 139 |
| 売掛金 | 1,033 | 1,203 | 169 |
| その他 | 358 | 414 | 55 |
| 貸倒引当金 | △0 | △1 | △0 |
| 固定資産（※2） | 10,303 | 10,822 | 519 |
| 有形固定資産 | 10,056 | 10,600 | 543 |
| 建物及び構築物（純額） | 688 | 894 | 206 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 182 | 248 | 66 |
| タンクコンテナ（純額） | 7,528 | 7,521 | △7 |
| 土地 | 1,568 | 1,898 | 330 |
| その他 | 88 | 37 | △50 |
| 無形固定資産 | 110 | 96 | △14 |
| 投資その他の資産 | 136 | 126 | △10 |
| 繰延資産 | 2 | 1 | △1 |
| 資産合計 | 14,089 | 14,971 | 882 |

（単位：百万円）

| 科　目 | 第21期（平成26年12月31日） | 第22期（平成27年12月31日） | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 【負債の部】 | | | |
| 流動負債（※3） | 3,217 | 3,256 | 38 |
| 買掛金 | 715 | 770 | 54 |
| 短期借入金 | 90 | 64 | △26 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,395 | 1,306 | △89 |
| 1年内償還予定の社債 | 130 | 70 | △60 |
| リース債務 | 180 | 254 | 73 |
| 未払法人税等 | 381 | 405 | 23 |
| その他 | 324 | 386 | 62 |
| 固定負債（※4） | 5,396 | 5,359 | △37 |
| 社債 | 100 | 30 | △70 |
| 長期借入金 | 3,932 | 3,621 | △310 |
| リース債務 | 1,111 | 1,503 | 391 |
| その他 | 252 | 204 | △48 |
| 負債合計 | 8,614 | 8,616 | 1 |
| 【純資産の部】 | | | |
| 株主資本 | 5,336 | 6,283 | 947 |
| 資本金 | 600 | 600 | — |
| 資本剰余金 | 526 | 526 | — |
| 利益剰余金 | 4,209 | 5,156 | 947 |
| 自己株式 | △0 | △0 | △0 |
| その他の包括利益累計額 | 138 | 72 | △66 |
| 純資産合計（※5） | 5,474 | 6,355 | 880 |
| 負債純資産合計 | 14,089 | 14,971 | 882 |

※1　現金及び預金、並びに売掛金が各々139百万円、169百万円増加したこと等により、流動資産は前連結会計年度末比364百万円増加（9.6%増）の4,147百万円となりました。

※2　水島支店開設等により有形固定資産が543百万円増加したことから、固定資産は前連結会計年度末比519百万円増加（5.0%増）の10,822百万円となりました。

※3　買掛金が54百万円、リース債務が73百万円、その他流動負債が62百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が89百万円、1年内償還予定の社債が60百万円減少したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比38百万円の増加（1.2%増）に留まり、3,256百万円となりました。

※4　リース債務が391百万円増加したものの、社債が70百万円、長期借入金が310百万円、その他固定負債が48百万円減少したこと等により、固定負債は前連結会計年度末比37百万円減少（0.7%減）の5,359百万円となりました。

※5　その他の包括利益累計額が66百万円減少したものの、利益剰余金が947百万円増加したことから、純資産は前連結会計年度末比880百万円の増加（16.1%増）となりました。

## 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

| 科　目 | 第21期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで | 第22期 平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 売上高（※6） | 10,302 | 11,001 | 698 |
| 売上原価 | 7,207 | 7,604 | 396 |
| 売上総利益 | 3,095 | 3,397 | 301 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,219 | 1,285 | 66 |
| 営業利益 | 1,876 | 2,111 | 235 |
| 営業外収益 | 156 | 129 | △ 26 |
| 営業外費用 | 211 | 258 | 46 |
| 経常利益（※7） | 1,820 | 1,983 | 162 |
| 特別損失 | 15 | 4 | △ 11 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,805 | 1,979 | 174 |
| 法人税等 | 644 | 678 | 34 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 1,160 | 1,300 | 140 |
| 当期純利益 | 1,160 | 1,300 | 140 |

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

| 科　目 | 第21期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで | 第22期 平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 営業活動による キャッシュ・フロー（※8） | 1,764 | 2,061 | 296 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー（※9） | 3 | △697 | △701 |
| フリーキャッシュ・フロー | 1,768 | 1,363 | △404 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー（※10） | △1,410 | △1,186 | 224 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | 70 | △36 | △107 |
| 現金及び現金同等物の 増減額（△は減少） | 428 | 140 | △287 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 1,956 | 2,385 | 428 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 2,385 | 2,525 | 140 |

## 連結株主資本等変動計算書（要約）　第22期（平成27年1月1日から平成27年12月31日まで）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 平成27年1月1日残高 | 600 | 526 | 4,209 | △ 0 | 5,336 | △ 0 | 139 | 138 | 5,474 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 353 | | △ 353 | | | | △ 353 |
| 当期純利益 | | | 1,300 | | 1,300 | | | | 1,300 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 0 | △ 0 | | | | △ 0 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額） | | | | | | △ 0 | △ 66 | △ 66 | △ 66 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 947 | △ 0 | 947 | △ 0 | △ 66 | △ 66 | 880 |
| 平成27年12月31日残高 | 600 | 526 | 5,156 | △ 0 | 6,283 | △ 0 | 72 | 72 | 6,355 |

※6　円安により上半期の輸出売上が堅調に推移したことや、中部支店の新設や神戸支店の増強効果が浸透したこと等により国内売上も順調に推移したことから、売上高は11,001百万円（前期比6.8%増）となりました。

※7　売上高増加に伴い営業利益も伸び、2,111百万円（前期比12.5%）となりました。将来の利息支払額の削減を目的に過去に高金利で調達した借入金の条件変更に伴う金利SWAPの解約により29百万円のデリバティブ解約損を計上したものの、経常利益は1,983百万円（前期比9.0%増）を確保しました。

※8　キャッシュ・フローの減少要因として法人税等の支払額が668百万円ありましたが、税金等調整前当期純利益1,979百万円、減価償却費803百万円等の増加要因により、営業活動を通じて2,061百万円の資金を得ることができました。

※9　有形固定資産の取得による支出697百万円等により、投資活動に697百万円の資金を使用しました。

※10　短期借入れと長期借入れによる収入が各々500百万円と1,685百万円ありましたが、短期借入金、長期借入金並びにリース債務の返済が各々526百万円、2,114百万円、212百万円があったうえ、配当金の支払額も353百万円あり、財務活動を通じて1,186百万円の資金を使用しました。

## ■ 会社の概要

| | |
|---|---|
| 社名 | 日本コンセプト株式会社 |
| 設立 | 平成6年1月 |
| 資本金 | 6億44万円 |
| 従業員数 | 162名（連結） |
| 業種 | ISOタンクコンテナを用いた総合液体物流業 |
| 事業内容 | 液体物流に関わる国際複合一貫輸送<br>液体貨物の保管、加温、他輸送容器への積替<br>ISOタンクコンテナの洗浄、メンテナンス |
| 取引銀行 | 三菱東京ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、<br>みずほ銀行、商工組合中央金庫、<br>日本政策投資銀行、その他 |

## ■ グループ会社

NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

## ■ 主な事業所所在地（平成28年3月30日現在）

| | |
|---|---|
| 本社 | 東京都千代田区内幸町二丁目2番2号<br>富国生命ビル8階 |
| 京浜支店 | 神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号 |
| 神戸支店<br>神戸営業所 | 兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号<br>（平成28年2月1日新設、大阪営業所を統合） |
| 中部支店<br>中部営業所 | 三重県四日市市高浜新町1257番2号 |
| 水島支店<br>水島営業所 | 岡山県倉敷市玉島乙島7471番252号 |
| 徳山支店<br>徳山営業所 | 山口県下松市葉山一丁目819番13号 |
| 新潟出張所 | 新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号 |

## ■ 役員

| | | | |
|---|---|---|---|
| 代表取締役社長 | 松元　孝義 | 常勤監査役 | 樋川　浩造 |
| 取締役副社長 | 山中　康利 | 社外監査役 | 有賀　隆之 |
| 取締役 | 仁科　善生 | 社外監査役 | 相浦　義則 |
| 取締役 | 若園　三記生 | | |

## ■ 株式の状況

| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 46,992,000 株 |
| 発行済株式総数 | 13,098,000 株 |
| 株主数 | 1,773 名 |

上位10名の株主の状況

| 株主名 | 持株数（株） |
|---|---|
| 松元　孝義 | 4,237,100 |
| 山中　康利 | 2,633,600 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 941,900 |
| 有限会社エスアンドアール | 600,000 |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS | 390,000 |
| 大田　宜明 | 330,000 |
| 蓮見　正純 | 300,000 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 300,000 |
| 株式会社三井住友銀行 | 300,000 |
| 有限会社エムアンドエム | 300,000 |

## ■ 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 基準日 | 12月31日 |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL 0120-232-711 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード） |
| 証券コード | 9386 |
| 公告方法 | 当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。<br>当社の公告掲載URLは次のとおりであります。<br>http://www.n-concept.co.jp/ |

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申出ください。

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org　ミックス　責任ある木質資源を使用した紙　FSC® C022915